

蓮舫大臣メッセージ

日頃皆さんが赤井先生のゼミで国の財政や予算制度について熱心に勉強され、今回公開模擬事業仕分けに取り組まれると聞きました。是非、皆さんの模擬仕分けに参加させていただき、議論を拝聴したいと思っていましたが、急な公務が入り、予定がキャンセルとなりました。大変残念ですし、準備をされてきたゼミの皆さん、大学などの関係者の皆さんにも申し訳なく思っております。

事業仕分けは、国の予算について、外部の目を入れて、公開の場で、実際の使い方を納税者の立場に立って点検し、事業として見直すべき点がないか検討するものです。

そして、今回皆さんが実際に仕分けの準備作業で活用したレビューシートは国の予算がどういう目的で実際に何に使われているのかを明らかにする資料です。

私は、この事業仕分けや行政事業レビューは、納税者の皆さんから納めて頂いた税金がしっかり使われているのかしっかり説明をし、納得をしていただくような予算に変えていく大事なツールだと思っています。

私は、これから納税者となり、また、これからの日本の社会を支える世代の皆さんがそうした取り組みを行われると伺い、本当に心強く思っています。

これからの日本の財政は、非常に困難な課題を乗り越える必要があります。皆さんが昇っていく坂は、大変険しい坂になるのかもしれない。

しかし、だからこそ、これからの日本を支えていく皆さんの世代が国の予算や財政に関心を持っていただくことは、非常に大切です。国の予算が納税者の納得が得られるような使い方になっているのか、有権者でもある皆さんが、冷静に議論し、判断していく。これを皆さんの世代が全体で共有する。

これこそが日本の国を支える大きな糧になると思っています。

素晴らしい議論をされることを期待しております。

2011年12月22日

内閣府特命担当大臣

蓮 舫